

ショッピングを 楽しむ

1 札幌駅周辺エリア
【札幌】は地価100円以上ある展望室からの眺望が圧巻。駅周辺は商業施設が集積し、エンターテインメントとショッピングが楽しめます。

2 狸小路商店街
中心街を東西約1.5km、西1丁目から西7丁目まで全天候街アーケードでつながる商店街。一つの通りにさまざまな業種の魅力あふれる店舗が並びます。
●241-5125

3 さっぽろ地下街
地下鉄大通駅を中心とするショッピングタウン。雨や雪を気にせずショッピングができるのが大きな魅力です。

4 サッポロファクトリー
サッポロビール工場跡地につくられた大型複合商業施設。巨大アトリウムを中心に約150のショップ、レストランなどが集まっています。
■中央区北2条東4丁目
●207-5000

5 中央卸売場外市場
隣接する卸売市場で産地直とされた新鮮な海産物や土産品のお買い物。食事が満喫できます。
■中央区北1条西21~23丁目
●621-7044

6 二条市場
明治36年、魚小売商から始まったといわれている歴史ある市場。市民の台所として親しまれ、観光客にも人気です。
■中央区南3条東1丁目・2丁目
●222-5308

7 大通周辺エリア
ウィンドーショッピングも楽しい。流行や情報の発信エリア。ここから札幌発のファッションが生まれることも。

8 新さっぽろエリア
札幌の東南部、江別市と隣接する札幌の副都心。大型ビルを中心に、巨大なショッピングゾーンが広がっています。

親しむ・学ぶ 文化施設

1 札幌市民交流プラザ
文化芸術や市民活動の新たな拠点として平成30年に開館した複合施設。2,302席の本格的なホール「札幌文化芸術劇場 hitaru」や、札幌文化芸術交流センター「SCARTS」等の施設があります。
■中央区北1条西1丁目
●271-1000

2 札幌コンサートホール Kitara (キタラ)
国内外の演奏家から高く評価されるクラシックの殿堂。2,008席の大ホールのほか、453席の小ホールを備えています。
■中央区中島公園内
●520-2000

3 道立近代美術館
北海道の作家やエッセイ、パリの画家の作品、江戸後期の浮世絵、国内外のガラス工芸など、約5,900点の収蔵作品展や特別展を開催しています。
■中央区北1条西17丁目
●644-6882

4 芸術の森
札幌の芸術の中心地となる総合文化施設。アートに触れながら自然の中を散策し、一日のんびりと過ごすことができます。
■南区芸術の森2丁目
●592-5111

5 アイヌ文化交流センター「サッポロピリココタン」
北の大地に先住し、独自の文化を育んできたアイヌ民族の生活や歴史、文化を学べます。
■南区小金湯27
●596-5961

6 彫刻美術館
大倉山のふもとに建つ美術館。札幌出身の彫刻家本郷新の作品による常設展や各種特別展を実施しています。
■中央区宮の森4条12丁目
●642-5709

7 芸術の森2丁目
■南区小金湯27
●596-5961

8 オリンピックミュージアム
オリンピック・パラリンピックの資料を展示。ウインタースポーツの疑似体験コーナーもあります。
■中央区宮の森1274
●641-8585

9 豊平川さけ科学館
サケ科の魚や札幌の淡水魚を飼育・展示。秋には親サケが、春には稚魚が観察できます。
■南区真駒内公園内
●582-7555

10 新さっぽろサンピアザ水族館
パラエティックに富んだ生き物たちを目前で観察できます。人気のペンギン・アザラシ・コウメカウも展示しています。
■厚別区厚別中央2条2丁目
●890-2455

花の名所を めぐる

1 百合が原公園
世界の百種の原種と園芸品種、約100種類の花が植えられています。ユリの花の見ごころは7月中旬です。
■北区百合が原公園210
●772-4722

2 さとらんど
札幌市の農業体験交流施設。四季折々の花やハーブが香る「さとらんどガーデン」、「ラベンダーの丘」などが人気です。
■東区丘珠町584番地
●787-0223

3 円山公園
円山のふもとに広がる約70haの広大な公園。市内でも有名な桜の名所です。5月には多くのお花見客でにぎわいます。
■中央区宮の丘
●621-0453

4 北海道大学植物園
開拓当初の面影を残す園内には、北海道の樹木や高山植物など国内外の植物約4,000種類を見学できます。
■中央区北3条西8丁目
●221-0066

5 国営滝野すらん丘陵公園
北海道らしい大らかな田園風景が広がります。「カントリーガーデン」では、春、夏、秋、冬の季節に合わせたさまざまなイベントが実施されています。
■南区滝野247番地
●592-3333

6 平岡公園
梅の名所。自然の地形をそのままに、北海道の樹木や高山植物が植えられています。
■清田区平岡公園
●881-7924

7 西岡公園
森に囲まれた閑静な公園で、中央には水源池があります。春にはミズバショウが咲く季節では、さまざまな見物があります。
■豊平区西岡
●582-0050

8 大通公園
花壇には4月から10月まで花が途切れることはありません。春には花フェスタが開催されています。
■中央区大通西1-12丁目
●251-0438

9 川下公園
札幌市の木であるライラックの品種を世界中から集めた「ライラックの森」では、5月中旬~7月上旬にかけて200種以上のライラックが咲き誇ります。
■白石区川下2651番地3外
●879-5311

スポーツと アウトドア

1 スノーリゾート
札幌は、人口約200万人の都市でありながら年間約5mの雪が降りる世界で唯一の都市であり、スキーや雪遊びなどが気軽に楽しめる。都市型スノーリゾートとしての魅力を備えています。

2 スノーエリア
定着したスキー・スノーボードのほか、新しい冬のスポーツも楽しめます。市内には冬に雪遊びができる施設がいっぱいありますので、家に閉じこもらずに出掛けてみてはいかがでしょうか。

3 雪遊び
ソリ遊びやかんじき、チューブ滑りなど、雪を楽しむ遊ばしは無限です。市内には冬に雪遊びができる施設がいっぱいありますので、家に閉じこもらずに出掛けてみてはいかがでしょうか。

4 ふれあいの森
札幌市有の森林として最大の白根山都市環境林(約1,100ha)に生まれ、周囲には厚別川が流れ、散策路が整備されています。
■豊平区山手1番地
●850-1000

5 テニスコート、野球場
ほとんどの体育施設の利用申し込みは「公共施設予約情報システム」から行えます。■スポーツ施設課 211-3045、■みどりの管理課 211-2536

6 ゴルフ
札幌および近郊のゴルフ場は、3月末から4月にかけてオープンします。フェアウェイの広い、気持ちのよいコースが充実しています。

7 パークゴルフ
札幌市内には約60カ所の市営パークゴルフ場があります。詳しくは市コールセンター(222-4894)か、区役所で配布している「パークゴルフ場マップ」をご覧ください。

札幌の四季

春
桜も梅もタンポポも、一斉に咲きます。
3月末ころには雪が解け、長い冬とも別れです。桜前線は、東京より40日ほど遅い5月上旬。ピクニックやサイクリングに絶好のシーズンとなります。6月15日の札幌まつりのころを境に、着ている服も夏物になり、初夏の訪れとなります。

夏
ビアガーデンが夏を連れてきます。
本州のような梅雨はなく、本格的な夏は7月から8月中旬くらいまで、夜が涼しく過ごしやすい夏です。お盆を過ぎると、吹く風に冷気を感じることも多くなり、札幌の短い夏もそろそろ終わりを迎えます。

秋
豊平川にサケが帰ってきます。
紅葉は9月中旬に始まり、10月には最盛期を迎えます。豊平川にサケが10月に入る。朝晩の冷え込みが厳しく、中旬にはストーブの出番です。10月末に初雪が見られる年もあります。

冬
まちじゅうが、ウインターワンダーランド。
12月上旬から雪が降り始め、最低気温が氷点下10℃以下になる日も、除雪に汗を流しながらも、スキーやスケート、雪まつりや雪のある生活を満喫。雪は3月に入るに解け始め、スノーシューなどで家の周りの雪割りをする姿が見られます。

札幌の歴史を 知る

1 時計台
北海道大学の前身である札幌農学校の演武場として明治11(1878)年10月に建築された。国指定重要文化財。
■中央区北1条西2丁目
●231-0838

2 北海道庁旧本庁舎
明治21(1888)年建築。「赤れんが」の愛称で親しまれている国指定重要文化財。北海道のみならず、日本の明治期を代表する建築物です。
■中央区中島公園内
●211-1951

3 豊平館
明治13(1880)年に開拓使がホテルとして建てた洋風建築物。日中は観覧、夜間は貸室利用ができます。国指定重要文化財。
■中央区中島公園内
●211-1951

4 エドウィン・ダン記念館
北海道の発展の基盤を築いた北海道開拓の父エドウィン・ダンの業績と生活の様子。開拓の記録が展示されています。
■南区真駒内東町1丁目
●581-5064

5 清善亭
明治13(1880)年、開拓使の貴族接待所として、市内初の公園である「借来園」の中に建てられました。市指定有形文化財。
■北区北7条西7丁目
●746-1088

6 札幌開拓村
北海道博物館開拓の村は、明治期~昭和初期の建物を復元した野外施設。博物館では北海道の自然・歴史・文化をまとめた展示も開催されています。市指定有形文化財。
■開拓の村998-2692
●北海道博物館998-0466

7 札幌農学校第2農場
明治9(1876)年に開設。クラーク博士の構想によって建てられた畜舎などを見学できる国指定重要文化財です。
■北区北18条西8丁目(北海道大学総合博物館)706-2658

8 琴似屯田兵村博物館
琴似屯田兵村博物館。兵舎は指定有形文化財です。
■兵衛町西2条西5丁目
●621-1988、(兵衛町西2条西1条7丁目琴似社境内)621-5544

味わうサッポロ

1 さっぽろスイーツ
ミルクやバターなどの原料を豊富に産出し、洋菓子作りに適した涼やかな気候を持つ北海道。洋菓子の本場ヨーロッパにも似たロマンあふれる札幌で、充実したスイーツ文化をお楽しみください。

2 シメバフェ
絞られた牛乳からできたソフトクリームや地元の旬の食材などを使った冷たくて甘いデザート。お酒を飲んだ後や食事をした後など、季節にかかわらず一日の最後をバフで締めくくってみてはいかがでしょうか。

3 スープカレー
札幌は水がおいしいからスープがうまい。気候がいいから野菜もうまい。市内には、スープカレーを扱う人気店がたくさんあります。

4 フレンチ、イタリアン
新鮮な食材が北海道の鮮度抜群の食材を使って、提供されるフレンチ、イタリアンが人気。お気に入りの店を見つけてみては。

5 ザンギ
「鶏から揚げ」を北海道では「ザンギ」の愛称で呼びます。居酒屋のメニューでも「ザンギ」が人気です。

6 牛乳
全国の中乳生産量の半分を誇る道産牛。北海道、札幌にも、様々な牛乳が毎日入荷されています。その味わいは、やはり産地直産のおいしさ。

7 さっぽろラーメン
札幌はもともとラーメン発祥の地。市内には多くのラーメン店が並び、さまざまなラーメンが楽しめます。

8 ビール
札幌は一年中、出たての生ビールを楽しめます。大通公園のビアガーデンは夏の風物詩。

日本を代表する 夜景

1 さいわい山手山展望台
高さ約100mの雄山山手山にある展望台。雄大な札幌市景に広がる夜景を堪能できます。
■中央区南5丁目
●661-6777

2 大倉山展望台
スキー・ジャンプ台越しに夜景が広がる、唯一無二の展望台。
■中央区南3条西1274
●641-8585

3 ノルベサ観覧車「ノリア」
スキージャンプ台越しに夜景が広がる、唯一無二の展望台。札幌の夜景を深夜まで満喫できます。
■中央区南3条西5丁目
●261-8875

4 さっぽろテレビ塔展望室
札幌中心部、大通公園に立つランドマークタワー。360度、札幌のノノラ夜景を楽しむことができます。
■中央区大通西1丁目
●241-1131

5 JRタワー展望室 T38
JR札幌駅直結。高さ160mに位置する展望室からは、海と山そして札幌の近未来的な夜景を堪能いただけます。
■中央区北5条西2丁目
●209-5500

6 さっぽろホールイルミネーション
1981年、日本初のイルミネーションとして始まった。光と雪で札幌を彩るイベントです。
■中央区大通西1~6丁目など
●281-6400

7 定山深イチャルミナリエ
冬の温泉街を彩る光のイベント。定山深温泉を舞台に数々の自然散策路を映像や光で演出します。
■南区定山深温泉東3丁目
●598-2012

8 定山深温泉 雪灯籠
冬の温泉街を彩る光のイベント。定山深温泉を舞台に数々の自然散策路を映像や光で演出します。
■南区定山深温泉東3丁目
●598-2012

ぬくもる あったまる

1 定山深温泉
札幌市南区に位置し、支笏洞爺国立公園として指定される自然景観で四季折々の景色を感じることができる温泉。泉質は、別名「熱の湯」と言われる「ナトリウム塩化物泉」で、温泉地では珍しい自然湧出の鮮度の高い温泉に浸ることができる。
■南区定山深温泉 ●(定山深観光協会)598-2012

2 小倉温泉
札幌市街から定山深へ向う途中、豊平川沿いにたたずむ静かな温泉。泉質は「硫酸塩泉」で、血が良くなり「心臓の湯」とも呼ばれています。
■中央区小倉 ●(定山深観光協会)598-2012

3 ようこそ SAPPORO 札幌の公式観光サイト
交通機関や観光施設などの基本情報に加え、四季のイベントや旬の話題など、バラエティに富んだ観光情報を提供しています。
※スマートフォンやタブレット端末にも対応。英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、インドネシア語版あり。
こちらからQRコードをスキャンしてください
●ようこそさっぽろ公式Instagram
www.instagram.com/welcometosapporo
おすすめ観光スポットやグルメ、美しい風景を発信しています。

市内巡り交通機関のご案内

公共交通機関
札幌市内巡りには、公共交通機関が便利。地下鉄、バス、路面電車を使えばほとんどの主要観光スポットにアクセスできます。地下鉄は南北線、東西線、東豊線の3路線で、各駅間の所要時間は約2分です。主要駅からはバスが連絡。また、市内中心街を走る便利な足として路面電車もあります。

SAPICA(サピカ)
SAPICAは、札幌圏の地下鉄・バス・路面電車を利用してICカード。改札機や運賃箱にタッチするだけで乗車料金が支払われ、入金することで繰り返し利用できます。
記名・定期券は、紛失しても再発行できる(手数料などが必要)ほか、改札機や運賃箱で自動的に入金されるオートチャージも利用できます。詳しくはホームページ(https://www.sapica.jp/)をご確認ください。またはSAPICAコールセンター(210-3156)へお問い合わせください。

1日乗車券(地下鉄・路面電車)

- 地下鉄専用1日乗車券
地下鉄一日中、何回でも乗車できます。(発売料金)大人830円、子ども(小学生以下)420円(発売場所)地下鉄券売機、地下鉄駅窓口、定期券売所
- ドニチカキップ
土曜、日曜、年末年始(12/29~1/3)に地下鉄が一日乗り放題の乗車券です。(発売料金)大人520円、子ども(小学生以下)260円(発売場所)地下鉄券売機、地下鉄駅窓口、定期券売所
- 路面電車1日乗車券
路面電車一日中、何回でも乗車できます。この乗車券1枚で、大人1名と子ども2名が1日乗り放題となります。(発売料金)大人500円、子ども250円(小学生以下)250円(発売場所)路面電車、地下鉄駅窓口(乗換指定駅)、大通定期券売所
- どサンこバス・モバイル版どサンこバス
土曜、日曜、年末年始(12/29~1/3)に路面電車が一日乗り放題の乗車券です。この乗車券1枚で、大人1名と子ども2名が1日乗り放題となります。(発売料金)400円(発売場所)路面電車、地下鉄駅窓口(乗換指定駅)、大通定期券売所

札幌市電24時間乗車券(モバイル版のみ発売)
利用開始から24時間(運行のない時間帯を含む)、何回でも乗車できる路面電車の乗車券です。(発売料金)大人780円、子ども390円(小学生以下)(発売場所)「乗換案内」アプリ内
※モバイル版路面電車1日乗車券・札幌市電24時間乗車券・モバイル版どサンこバスのご利用には、**ジョルダン株式会社**が提供するスマートフォン向けアプリ「乗換案内」が必要です。

市内循環バス

- さっぽろお〜く
市内中心部やサッポロビール園、サッポロファクトリーなどを一周約30分で行っています。(週年運行)料金は大人210円、小人110円。詳細は、北海道中央バス(0570-200-600)へお問い合わせください。